

TOTO ウォシュレットSシリーズ 施工説明書

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

新機構情報

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットが作動しません。(新型のベースプレートは本体着脱換出用のスイッチを内蔵しています。)

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。

このような絵表示は、禁止の行為であることを告げるものです。

このような絵表示は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告

浴室など湿気の多い場所には設置しない。 (火災や感電の原因になります。)	交流100V以外では使用しない。 (火災や感電の原因になります。)	アース(D種接地工事100Ω以下)を確実に取り付ける。 アース接続 (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)
水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外 は使用しない。 禁止 (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)	漏電保護プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しない。 禁止 (火災や感電の原因になります。)	漏電保護プラグは根元まで確実に差し込む。 必ず守る (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)

注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓を取りはずさない。 禁止 (水が噴き出します。)	給水フィルターを掃除した後は、給水フィルター付水抜栓を確実に締める。 必ず守る (確実に締めないとお水漏れの原因になります。)	連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない。 禁止 (水漏れの原因になります。)	便座・便ふたを持って製品を持ちあげない。(本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
--	--	---	--

取り付け前のご注意

- 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
- 便器に取り付ける前に、本体にベースプレートをセットして通電しないでください。温水タンクが空の状態ではヒータが入るため、故障の原因になります。
- 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は413Wです。必ずこの電力に適した配線をしてください。
- 電源コードの長さは約1mです。コンセントの位置はウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。
- 給水圧力範囲は0.05MPa~0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
- 同梱以外の連結ホース、分岐金具を使わないでください。
- 連結ホースの長さは約1mです。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし連結ホースの長さが足りない場合は、③連結ホースの接続の⑤項に長い連結ホースを記載していますので、適切な長さのホースを選んでください。
お求めはTOTOパーツセンター ☎0120-8282-55へお電話ください。

フラッシュバルブへ接続する場合

フラッシュバルブへ接続する場合は、別売品の専用アダプタTH484(フラッシュバルブの給排水心120mm用)又はTH484-1(低圧フラッシュバルブ用)が必要となります。お求めはTOTOパーツセンター ☎0120-8282-55へお電話ください。

右給水の隅付タンクへ接続する場合

隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、連結ホースの長さが足りませんので別売品の中継アダプタTCA58が必要となります。お求めはTOTOパーツセンター ☎0120-8282-55へお電話ください。

部品の確認

<p>1 ウォシュレット本体</p>	<p>2 分岐金具</p> <p>パッキン(2個)</p>
<p>3 ベースプレート一式</p> <p>※分解せずにこのままで(便器)に取り付けてください。</p> <p>分解された場合、歯付座金には方向性があります。ご注意ください。</p> <p>くぼみ(2カ所)のある面が下になります。</p> <p>本体着脱換出用スイッチ内蔵</p>	<p>4 連結ホース(パッキン付)</p> <p>パッキン</p>
<p>5 取扱説明書(裏表紙保証書付) 快適宅配便、アンケートはがき</p> <p>アンケートはがき</p> <p>取扱説明書</p> <p>保証書</p>	

各部の名称

便ふた ラベル

給水フィルター付水抜栓

漏水保護プラグ

分岐金具

アース線

連結ホース

ベースプレート

便座センサー(側面)

ノズル

暖房便座

本体はすしボタン(及び水抜きバー)

(押す: 本体をはずせます 引く: 水抜きできます)

取付方法

1 分岐金具の接続

一般のロータンクへ接続する場合

1 止水栓を閉め、給水管を取りはずす。

②上下の袋ナットをゆるめる

③給水管を取りはずす

①止水栓を開める

2 分岐金具を止水栓に取り付ける。

①袋ナットを止水栓に締め付ける

分岐金具

パッキン

止水栓

※給水カプラは下に向ける

3 給水管の止水栓側を切断する。

給水管

パイプカッター

差込部分10~15mmを必ず確保する

POINT!
給水管の切断はパイプカッターを使用してください。切断後は切粉などを取り除いてください。

接続部にテーパリングを使用している場合

接続部にテーパリングを使用していない場合

給水管

袋ナット

テーパリング

パッキンガイド

パッキン

差込代 約10~15mm

分岐金具

止水栓

給水管

袋ナット

スリップワッシャー

ゴムパッキン

差込代 約10~15mm

POINT!
部品の順番、向きを間違えないでください。

4 給水管を取り付ける。

①ロータンク（ボールタップ）側の袋ナットを締め付ける

②分岐金具側の袋ナットを締め付ける

袋ナット

ボールタップ本体

袋ナット

ロータンク

注意

- ボールタップ本体が回らないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り付けられると止水不良の原因になります。

ワンピース便器へ接続する場合

1 止水栓を開める。

2 ふさぎふたとゴムパッキンを取りはずす。

ワンピース便器

ゴムパッキン

ふさぎふた

止水栓

3 分岐金具を止水栓に取り付け、ふさぎふたとゴムパッキンを取り付ける。

ゴムパッキン

ふさぎふた

止水栓

パッキン (付属品)

分岐金具

2 便器への取り付け

一般の便器への取り付け

注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレート（本体着脱換出用スイッチ内蔵）に取り替えてください。※旧型のベースプレートではウォシュレットが作動しません。

1 ベースプレートの取付方向を確認する。

POINT!
圓圈と表示している面が表側です。圓と表示している方を便器の先端側に向けます。

旧公団用取付穴

後

前

標準(140)

2 仮締め

ゴムブッシュを便器取付穴に差し込み、ベースプレートが動かなくなるまでボルトを締める。

POINT!
ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくとし込みやすくなります。

ボルト

ゴムブッシュ

便器取付穴

差し込む

3 本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む。

POINT!
本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。

ベースプレート

カチッ

4 本体がまっすぐ取り付くことを確認し、一旦本体を取りはずす。

POINT!
本体は少しボタン(及び水抜きレバー)を押したまま手前に引くとはずせません。

本体は少しボタン(及び水抜きレバー)

5 本締め

ベースプレートが便器にあたるまでボルトをしっかり締めた後、再び本体を「カチッ」と音がするまで押し込む。

POINT!
パッキンがつぶれて、ベースプレートが便器にあたるまで締め付けてください。

ボルト

ベースプレート

パッキン

便器

※本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタツキが発生します。（これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のすき間によるもので、異常ではありません。）

旧公団用便器への取り付け

1 ストッパーをはずし、ノックアウトを取りはずす。

ノックアウト

ストッパー

はずす

はすす

裏

2 ストッパーを旧公団用の穴へ付け替える。

ストッパー

旧公団用取付穴

差し込む

裏

3 連結ホースの接続

1 ウォシュレット本体の給水口に連結ホースの袋ナットを締め付ける。
※この状態のまま製品を床に置かないでください。連結ホースが折れ、水漏れの原因になります。

2 連結ホースを分岐金具の給水カブラに差し込む。
(給水カブラの凸部と凹部を90°ずらしてください。)



3 連結ホースを取り付けた状態で、本体を取りはずしたり取り付けたりできる長さがあるか確認する。

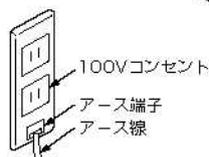
※連結ホースの長さが足りないときは下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同製品の連結ホースの長さは970mmです。)お求めはTOTO/パーツセンター ☎0120-8282-55へお電話ください。

連結ホース長さ (mm)	品番
1180	D24009ZRt5
1480	D24009ZRt6
1980	D24009ZRt7

※分岐金具の給水カブラは一時止水機能付ですが、連結ホースをはずすときは必ず止水栓を開めてください。

4 アース線の接続

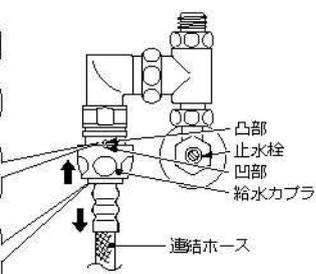
- アース線をコンセントのアース端子に接続する。
- ※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。



連結ホースのはずしかた

施工のやり直しなどで連結ホースを取りはずすときは、次の手順で行ってください。

- 止水栓を閉める
- ロータンクの水を流す
- 給水カブラの凹部と凸部を合わせ押し上げる
- 給水カブラを押し上げたまま連結ホースを引き抜く

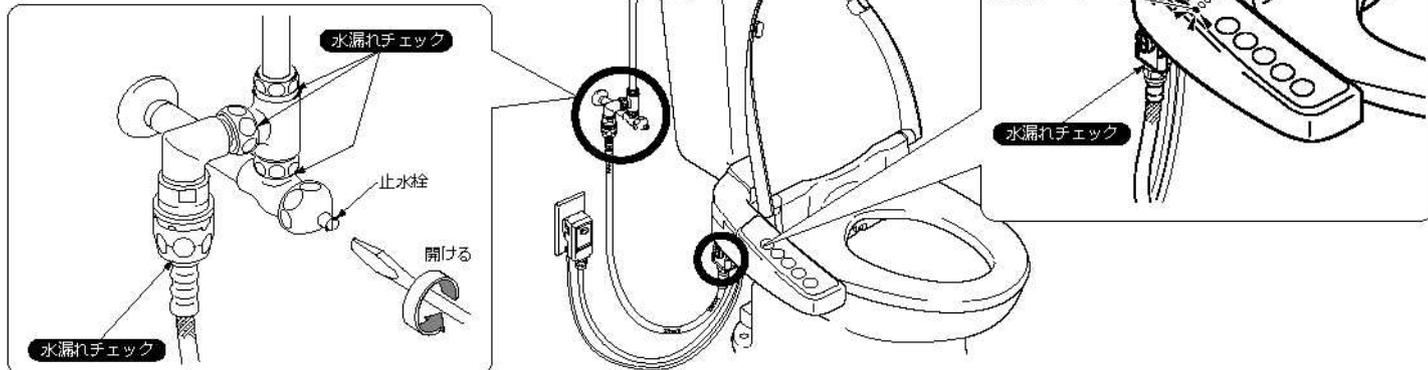


試運転

- 取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。
- 試運転が完了したら「運転/切」スイッチが、必ず「入」になっていることを確認してください。
(「入」のときは、操作部の「運転」ランプが点灯します。)

1 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか再確認する。
- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する。
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する。
- ※万一、水漏れがあれば再施工を行い水漏れを止めてください。



2 漏電保護プラグの確認

1 漏電保護プラグを100V (50/60Hz) のコンセントに差し込む。

CHECK!
ノズルが一旦出て戻る初期動作を行うか確認してください。

2 漏電保護プラグの「入」・「切」ボタンを押して正常に作動することを確認する。

CHECK!
「切 (テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
「入 (リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する
以上の動作であれば正常です。

「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。
テスト後は必ず「入 (リセット)」ボタンを押してください。

3 機能の確認

1 着座センサーを白紙でおおう。

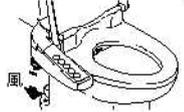
POINT!
着座センサーを白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。



2 脱臭機能を確認する。(SA,SBのみ)

CHECK!

- 操作部側面下部の吹出口より風が出ていますか?



3 パワー脱臭機能を確認する。(SA,SBのみ)

CHECK!

パワー脱臭

- スイッチを押すと風が強くなりますか?

パワー脱臭

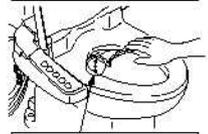
- もう一度、 スイッチを押すと元の強さに戻りますか?

4 洗浄機能を確認する。

CHECK!

- スイッチを押すとノズルから適温の温水が出ますか?
(温水タンクが空のときは吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。)
- 水勢調節スイッチ 弱 強 を押すと水勢が変化しますか?
- スイッチを押すと止まりますか?

POINT!
吐水は手のひらで受けてください。

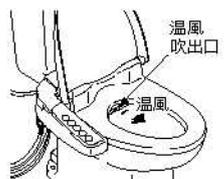


洗浄時ノズルの根元からも水が出ますが、これは機能上必要なもので異常ではありません。

5 乾燥機能を確認する。(SA,SCのみ)

CHECK!

- スイッチを押すと温風がノズルの左側から出ますか?
- スイッチを押すと止まりますか?



6 暖房便座機能を確認する。

CHECK!

便座があたたまるまで約15分かかります。

7 着座センサーの白紙をはずす。

8 オートパワー脱臭機能を確認する。(SA,SBのみ)

CHECK!

- 白紙をはずしたときに脱臭音が大きくなりますか?
※着座センサーを30秒以上白紙でおおわないとオートパワー脱臭は作動しません。
- 1分後に自動的に止まりますか?

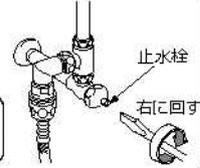
給水フィルター付水抜栓の掃除

● 試運転後は必ず給水フィルター付水抜栓を掃除してください。(フィルターにゴミが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。)

1 止水栓を閉めて給水を止める。

- ロータンクの水を流してください。(給水管内の圧抜きです。)

⚠ 注意
止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。(水が噴き出します。)



2 給水フィルター付水抜栓を左に回してゆるめた後、引っ張ってははずす。

給水フィルター付水抜栓取付穴
給水フィルター付水抜栓
水受けを置く

3 フィルターを水洗いする。

- 小さなゴミは歯ブラシなどで確実に取り除いてください。
- 本体の給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。



4 給水フィルター付水抜栓を押し込み、右に回して止まるまで確実に締める。

給水フィルター付水抜栓

⚠ 注意
給水フィルター付水抜栓は確実に締める。(確実に締めないとお水漏れの原因になります。)

5 止水栓を開ける。

6 給水フィルター付水抜栓部から水漏れがないことを確認する。

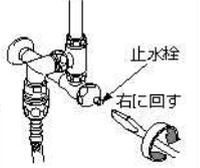
凍結のおそれがあるときの処置

● お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故予防のため、次の要領で水抜きしてください。(漏電保護プラグは差し込んだままにしてください。)

1 止水栓を閉めて給水を止める。

- ロータンクの水を流してください。

POINT!
ロータンクの水が流れ出てしまうまでレバーを回したまわにしてください。



2 配管の水を抜く

- 補助操作部の「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す。(製品内の残水を抜きます。)
- 給水フィルター付水抜栓をはずす。詳しくは「給水フィルター付水抜栓の掃除」の項をご覧ください。

⚠ 注意
止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。
● 水が噴き出します

- 連結ホースを給水カプラからはずし、先端を容器で受ける。



3 本体を取りはずす

本体はずしボタン(及び水抜きレバー)
● 押したまま本体を手前に引く

ベースプレート

4 本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を引いて本体内の水を抜く

- 本体をはずさないとお水抜きレバーは引けません。
- 本体下側から水(約1.2L)が出ますので便器内に排水してください。完全に抜けるまで3分くらいかかります。

5 連結ホースを給水カプラに差しこむ。(「カチッ」と音がします。)詳しくは③ 連結ホースの接続②項をご覧ください。

6 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

- 給水フィルター付水抜栓を押し込み、右に回して止まるまで確実に締めてください。

⚠ 注意
給水フィルター付水抜栓は確実に締める。
● 確実に締めないとお水漏れの原因になります。